

質問した事項

11人の議員の一般質問を紹介します。掲載しきれなかった質問は、深川市議会YouTubeチャンネルや一般質問通告表でご確認いただけます。

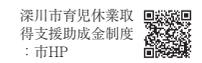


- 田中 昌幸 議員…06
・若者に安定雇用と所得増を
・指定管理施設で働く方の待遇向上を
■辻本 智 議員…07
・災害時、情報を早く正確に
・若い世代へ子育て支援の充実を！
■水上真由美 議員…08
・緊急時の電力確保対策は
・姉妹都市交流の今後について問う
■和田 秀隆 議員…08
・危険な空き家、安全防護を
・現単価でも生活苦。福祉灯油実施を
■楠 理智子 議員…09
・デマンド交通の検討状況は
・歯の健康を保つ取り組みについて
■小田 雅一 議員…10
・交通安全対策の充実を問う
・地域を挙げた農業の担い手対策を
■木根 昭夫 議員…10
・ふかがわパークについて
・高等学校の学校給食について
■松本 雅祐 議員…11
・地域防災計画見直しを問う
・小中学生の通学カバンは重すぎる！
■松原 和男 議員…12
・インボイス制度について
・本町通り無電柱化工事に住民配慮を
■宮澤 孝司 議員…12
・プラザホテル板倉への対応
・拠点施設への災害バルク導入を問う
■佐々木一夫 議員…13
・道種子条例の制定について
・深川西高羽球部の大活躍を受けて



たなかまさゆき 田中昌幸 議員 (民主クラブ)

若者に安定雇用と所得増を 方策を探り実施に移したい



深川市育児休業取得支援助成金制度：市HP
次世代人材確保対策協議会実施の合同企業説明会



つじもと さとし 辻本智 議員 (公政クラブ)

災害時、情報を早く正確に 3つの伝達方法に限られた

胆振東部地震では、市民生活に混乱が生じた。深川市地域防災計画では、「市民への情報伝達を迅速性と確実性から各種伝達方法を複数組み合わせて行う」とされているが運用状況を伺う。
A 今回の地震では、地域防災計画の災害対策本部設置基準に照らした上

めた9つの情報伝達手段のうち電話、広報車、伝達員等による個別伝達の3つに限られました。
若い世代へ子育て支援の充実を！
A 来年度から始まる幼児教育無償化において、保護者の給食費の実費負担が示されている。1少

子がまけないまちづくりを目指す本市の子育て支援策を後退させるべきではないと考えるか。
A 国の子ども・子育て会議において、給食費(食材料費)について、保育を必要とする3歳以上の子供では、従来、主食費を公定価格の対象外と



深川市地域防災計画：市HP
河川の増水による災害

市内卒業生の転出による人口減少の防止策として、安心して働き、子供を産み育てることができ、職場環境づくりの取り組みを拡充するなど、若者の安定雇用と所得増の支援について市の考えを伺う。
A 育児休業取得を推進する雇用主に対し助成金を支給する「育児休業取得支援助成金制度」を独自施策として行っていますので、さらなる制度周知に努めていきます。
また、本年度、関係機関等とともに次世代人材確保対策協議会を設立し、その中で企業が人材確保に関し苦慮されていることなどを伺っており、若

者の安定雇用と所得増加に向けた方策の充実を探り、実施に移していきたいと思っています。
指定管理施設で働く方の待遇向上を
A 公の施設の指定管理業務受託者は、公共サービスに欠かせない市のパートナーである。職員の

方が、魅力を感じ働き続けられる環境づくりに向けた、待遇向上への取り組みを市が提供することについて伺う。
A 現在16施設で指定管理による管理運営を行っている。臨時職員やパート職員を含め約1500人が各施設で勤務しています。施設で働く職員の方

んにとって、魅力的な職場となるためには、待遇向上への取り組みも一手法と考えますが、各施設において業務内容等も違うことから、まずは、各指定管理者と施設担当所管が連携し、現状の共通認識を図り、市として必要な取り組みを確認したいと考えています。



みづかみ まゆみ 議員  
水上真由美議員  
(新政クラブ)

## 緊急時の電力確保対策は 避難所等への対策も検討

ⓐ 災害時、司令塔となる市役所が機能しなければ、適切な指示や情報提供など初動に支障が出る。支所や避難所等にも発電機及び燃料供給の協定を調え、緊急時に備えた電力確保対策をすべきではないか。

ⓑ 現在の市役所は、庁舎内の全ての電力を賄える自家発電設備はありませんが、小型発電機5台により必要最低限の電力を供給することとしています。

Ⓐ また、燃料については、空知地方石油協同組合北空知分会と災害時における協定を結んでおり、市内のガソリンスタンドより調達が可能となっております。

ⓐ 姉妹都市交流の今後について問う  
ⓑ アポツフォード市と姉妹都市提携をして以来、相互に訪問団を派遣し、

Ⓐ 青少年交流や文化交流を続けてきた。今後は、実績のある人的交流を中心に友好を深めるべきと考えるが、市の考えを問う。  
ⓐ 平成10年にアポツフォード市と文化・教育・経済の各分野にわたる交流の促進を目的に姉妹都市提携を行っています。質問の交流については、

姉妹都市カナダ・アポツフォード市：市HP



アポツフォード市役所



わだ ひでたか 議員  
和田秀隆 議員  
(無党派)

## 危険な空き家、安全防護を 持ち主に適正管理を促す

ⓐ 深川郵便局周辺で崩落、一部倒壊の危険がある管理不全空き家がある。現在、弁護士が対応しているとのことだが、万が一の時のために、市でできる簡易測量等で定期把握と防護が必要ではないか。

Ⓐ 深川郵便局周辺の空き家については、郵便局から連絡があった平成30年3月から屋根の雪おろしを初め、定期的に壁の剥離状況を計測しています。また、持ち主の関係者には適正管理についての文書を発信しており、受領していただいているようですが現在も返答がない状況です。今後引き続き文書通知を行っている

Ⓐ いきますが、屋根雪の処理等は建物の危険度が増しており行えないため、その旨郵便局にも了解をいただいています。  
ⓐ 現単価でも生活苦。福祉灯油実施を  
ⓑ 灯油単価が98円前後で高止まりしているが、一般世帯の可処分所得の

減少は今日まで続いており、現在の単価でも市民の家計は苦しい。冬期の生活支援に福祉灯油の実施が必要と考えるかどうか。  
Ⓐ 福祉灯油については、灯油単価が120円から130円台に高騰した平成19年度と20年度、また100円以上が継続して

いた25年度に実施しており、そのときには1、142世帯に対して5千円を支給した実績があります。現時点で実施の考えはありませんが、今後における灯油価格の動向や、北海道の財政支援措置の有無等を総合的に見極め、判断したいと考えています。

市民福祉部 社会福祉課：市HP



12月21日現在の灯油単価



にしむら りちこ 議員  
楠理智子 議員  
(民主クラブ)

## デマンド交通の検討状況は 需要を分析し検討を重ねる

ⓐ 岐阜県瑞浪市では、路線バスやコミュニティバスを運行していない地区でデマンド交通を予約制で運行している。深川市における、必要性のある地区に対するデマンド交通の検討について問う。  
Ⓐ デマンド型乗合タクシーの運行については、これまで先進地視察や

市内にどのような形で利用者が存在するかの「需要分析」を進めるなど検討を重ねてきています。本年度中に地域公共交通活性化協議会において意見をいただく予定としていますが、本市に合ったデマンド型乗合タクシーの導入には、地域の分析と地域に合った運行の

検討に時間を要するため引き続き導入の検討に取り組んでいく考えです。  
ⓐ 歯の健康を保つ取り組みについて  
ⓑ 北海道フッ化物洗口ガイドブックに「薬剤は鍵のかかる戸棚等で保管。実施前に真水で飲み込まず、吐き出す練習を」と

ある。健康被害の懸念の説明と、フッ化物洗口実施後の虫歯予防の効果を問う。  
Ⓐ 保育所及び幼稚園におけるフッ化物洗口事業については、平成24年度から保育所や幼稚園を通して保護者に対し、フッ化物洗口液を飲み込んだ場合の健康への影響や安

フッ化物洗口に関するページ：道HP



北海道フッ化物洗口ガイドブック

全性などを周知しており、保護者が希望したお子さんに対してのみ実施しています。また、当事業を開始してから現在まで、保育所・幼稚園、保護者から健康被害についての報告はなく、国などにおいても虫歯予防の有用性が確認されています。



小田雅一 議員 (公政クラブ)

### 交通安全対策の充実を問う 公安委員会へ要望していく

安全で安心して暮らせるまちづくりは大切である。そのためには、道路環境の整備・確保は重要な要素であり、見通しの悪い交差点や道路の整備状況をどのように確認し、対応しているのか問う。

信写機を初めとした交通安全施設の整備の最終的な判断は、北海道公安委員会が行いますので、今後も市として整備の要望をしていきたいと考えています。また、見通しの悪い交差点や道路整備も同様に要望していくとともに、市としても注意を要する地点の地域における交通安全運動の取り組みや学校への呼びかけ

啓発看板の設置などを引き続き行っていきます。**地域を挙げた農業の担い手対策を**新規就農を希望する方が本市で就農するには、地域での取り組みが重要となる。きたそらち農協も、新規就農を目指す方HPで呼び掛けを行って

いるが、市としての地域における取り組みはいかに。新規就農対策については、JAきたそらち・関係市町・空知農業改良普及センター北空知支所を構成員とした「JAきたそらち担い手プロジェクトチーム」が平成28年に設置され、深川未来ファームと連携しながら一体的な取り組みをしているところ。今後、地域を挙げて対策を推進していくとともに、労働力不足に対応するため外国人労働者の活用の可能性等も調査・研究し、地域農業の持続的な展開が図られるよう検討していく考え

交通事故をゼロに：市HP

平成28年 市内交通事故発生状況

|      |                  |
|------|------------------|
| 発生件数 | 25件<br>(前年比10件減) |
| 死亡者数 | 0人<br>(前年比 ±0人)  |
| 負傷者数 | 30人<br>(前年比12人減) |



木根昭夫 議員 (民主クラブ)

### ふかがわポークについて 販路拡大を目指していく



深川未来ファーム HP  
養豚事業(ふかがわポーク)

農畜産物処理加工施設の管理は、民間業者への委託計画を変更し、深川未来ファームが養豚、加工、販売の全てを単独運営するようだが、製造ノウハウの取得方策と販売先ルートの確保について問う。

現在、整備中の地域資源活用農畜産物処理加工施設における加工品の製造ノウハウについては、深川未来ファームにおいて、これまでアグリサポート部門に食品・加工技術に係る専門員を配置し各種研究を行ってきたことから、その専門員の技術指導のもとでノウハウを取得していく考えです。また、販売先の確保に

ついては、道の駅での販売拡大、スーパーや飲食店への働きかけ、物産展等での販売など、市も一体となって販路拡大を目指していきます。**高等学校の学校給食について**北空知圏学校給食センターは、2,200食

の提供が可能であるが、小中学校の生徒の数が減り、将来的には高校への給食も可能と思う。共働き家庭の需要もあると思うが、実施に向けた市の考えを問う。

高校での給食提供については、将来的な検討課題と受けとめながら、魅力ある高校づくりにおいて今後「公立高校の魅力づくり検討会」での意見や、公立高校からの要望等を検討し、できる限りの支援を行っていきたいと考えています。



松本雅祐 議員 (無会派)

### 地域防災計画見直しを問う 地震での課題も含め見直す

9月6日の停電では、市役所の非常用発電機の不備もあり、災害情報の発信や通常業務に支障が出るなどの課題が露呈した。市民を災害から守るため深川市地域防災計画の見直しについて問う。

平成29年3月に石狩川の最大規模の浸水想定区域が明らかにされたことにより、それを反映したハザードマップの作成と避難所の見直しが必要となっています。このことを反映した、深川市地域防災計画の見直しを進めていく考えですが、今回の地震で得た課題や教訓も含めた同計画の見直しを行っていく

と、今更だに、それを反映したハザードマップの作成と避難所の見直しが必要となっています。このことを反映した、深川市地域防災計画の見直しを進めていく考えですが、今回の地震で得た課題や教訓も含めた同計画の見直しを行っていく

と、今更だに、それを反映したハザードマップの作成と避難所の見直しが必要となっています。このことを反映した、深川市地域防災計画の見直しを進めていく考えですが、今回の地震で得た課題や教訓も含めた同計画の見直しを行っていく



深川市地域防災計画：市HP  
洪水ハザードマップ

道教育委員会を通じ「各学校において児童生徒の携行品の重さや量について改めて検討の上、必要に応じた適切な配慮を」との通知があり、その内容には、家庭学習で使用する予定のない教材等を置いて帰ることを認めたり、学習用具の一部を所定の場所に置くことが示されています。深川市教育委員会は、この通知の趣旨にある「身体の健やかな発達に影響が生じかねないことへの懸念など」を踏まえるとともに、登校前の準備の大切さなども考慮し、通知にある具体例に基づき校長会を通して検討していく考えです。



まつばら かずお 議員  
松原和男 (無会派)

## インボイス制度について

### 支援策を広く周知していく

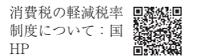
消費税率引き上げと抱き合わせのインボイス制度導入は、制度に準じなければ事業者は極めて不利となる。市内事業者への対応支援のため、関係機関との協働が必要であると考えが見解を伺う。

応があり、同制度による事業者側のシステム導入などを考慮して、消費税率引き上げから4年後の平成35年10月から開始となります。このことから、国は中小企業・小規模事業者等に対して、軽減税率対策補助金により、複数税率レジの導入等に要する経費を支援しており、

市ではHPでその情報の提供を行っています。今後も、深川商工会議所や深川市商店街振興組合連合会なども連携し、事業者へ広く周知していく考えです。

柱化工事は、工事期間が長いと感じる。本町通りの無電柱化計画は既に説明会が開催されているが、工事の長期化など商店街や住民への対応と配慮について伺う。

地域住民に対する全体説明会は、国と北海道がそれぞれ行っています。今後行われる各年度の工事区間での住民説明会や、個別の説明の際には、市職員が橋渡し役を担うことにより、商店や住民の皆さんの個別事情にも配慮していただけたよう調整を図っていかたいと考えていますので、工事に際しては、ご理解とご協力をいただければ幸いです。



無電柱化工事の様子



みやざわ たかし 議員  
宮澤孝司 (新政クラブ)

## プラザホテル板倉への対応

### 今後の動きを見守っていく

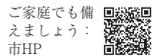
平成31年4月末で営業が終了予定で、経営の譲渡先を探しているとのこと。市民は、このまま閉館すれば市内経済にも影響があると不安視しているため、動向を踏まえた上で考えと対応を伺う。

現在、関係当事者間で、プラザホテル板倉が営業を続けられない場合、経営を継続してくれる譲渡先を探努力をするなどが話し合われていることを承知しています。

市は、2019年5月以降も同ホテルが担っているサービス・機能が継続されることが望ましいと思っております。従業員の雇用の安定確保も重要なことで、経営が続くことを期待しています。

いすれにしても、ホテル側の動きを注意深く見守っていく考えです。

災害ハルクは、大規模災害に有効であり、LPガスは品質劣化が少なく、備蓄燃料として大変優れているため、災害時の貴重なエネルギー源となる。拠点となる施設への設置について考えを伺う。



災害ハルク



ささき かずお 議員  
佐々木一夫 (無会派)

## 道種子条例の制定について

### 市の意見を北海道に提出済

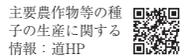
私が第3回定例会で行った北海道種子条例の制定を望む内容の一般質問に対し、市長は農業団体等の声をみずから聞き、市として同条例に反映させて行く方針を約束したが、その実行を伺う。

本市では11月2日にきたそらち農協担当課課長、深川市農民協議会役員を招集し、パブリックコメントで示された北海道条例案等の説明後、意見聴取を行い、参加者から原種圃等の設置に伴う予算確保などの意見が出され、その結果、11月9日に「優良品種の種子の安定的な生産を推進するための必要な予算の確保」について北海道へ意見提出しました。

今後もし引き続き本件の動向を注視していきたいと考えています。

深川西高羽球部の大活躍を受けて、以前、クラーク記念国際高校野球部補助により、高校間の練習環境の格差解消のため、「公立

高校部活動にも支援を二としましたが、公立高校の特定部活に特化した支援はできないと言われた見直す考えはないか。



全国3位入賞報告